

科 目 名
デザイン実習 II Design Exercise II

2年 前期・後期通し 2単位 選択

西郷正浩
星加民雄

【科目区分】

学士課程共通の学習効果との対応：4
情報教育目標との対応：情報活用の実践力
建築学科教育カリキュラムとの対応：

学習・教育目標	JABEE基準1の(1)の知識・能力	コース名	必修／選択の別	授業時間
B	—	d-1	選択	45時間
B 1	—			
	—			

【概要】

デザイン実習Iで身に付けた表現技法を用いて、建築へとシフトしたデザインの実習を行います。建築設計製図では2次元で空間構成を考えて3次元に立ち上げるというプロセスによって建築設計の基本を学んでいますが、この実習では、模型をつくりながら3次元で建築をデザインするプロセスについて学びます。また、プレゼンテーションの基礎についても学びます。

【到達度目標】

- (1) 立体的空間の認識と造形発想の方法を習得する
- (2) 造形発想に基づいた建築設計プロセスを習得する
- (3) プrezentationの基礎的な技法を習得する

【授業計画】

テー マ	内 容
① 光のゲート	課題説明を行なった後、アイディアスケッチを行う。課題は、デザイン実習第4課題の構成方法を基本として、表からも裏からも美しく見える構成を考え、さらに人が通過することで発生する視点移動に対する見え方の変化も考慮する。
② 同上	ケント紙で模型を作成しながらアイディアを試行錯誤する。
③ 同上	上記スタディー模型の個別講評を行い、提出模型の作成を開始する。
④ 同上	全作品を展示して学生投票を行い、上位作品のプレゼンテーションを行う。終了後、個別講評を行う。
⑤ 陰影の空間	課題説明を行なった後、ケント紙で模型を作成しながらアイディアを試行錯誤する。課題は、光の効果を生かした空間を考える。内部空間への光の取り入れ方を考え、外観にも美しさを与える。
⑥ 同上	上記スタディー模型の個別講評を行い、提出模型の作成を開始する。
⑦ 同上	提出模型を作成する。
⑧ 同上	全作品を展示して学生投票を行い、上位作品のプレゼンテーションを行う。終了後、個別講評を行う。
⑨ イスのデザイン	世界のイスを事例に取り上げ、素材、形状、デザインの変遷、および構造、機能の観点からサイズ等の構成要素について説明した上で、第3課題であるイスのデザインのアイディアスケッチをスタートする。
⑩ 同上	アイディアスケッチからラフ図面（1／5モデル制作図面）を作成する。
⑪ 同上	素材の選択およびモデル用部材の加工
⑫ 同上	全作品を展示して学生投票を行い、上位作品のプレゼンテーションを行う。終了後、個別講評を行う。
⑬ インテリアプランニング	プライベートルームのインテリア計画が題材とするため、課題説明を行なった後、各自のイメージを広げるための資料収集を行う。
⑭ 同上	集めた資料をもとに、インテリア要素となるそれぞれの家具のサイズや素材、床、壁素材等のインテリアエレメント表を作成する。
⑮ 同上	インテリアエレメント表と並行して基本イメージとなるインテリアの理想像をコラージュで作成する（資料は建築雑誌から）
⑯ 同上	全作品を展示して学生投票を行い、上位作品のプレゼンテーションを行う。終了後、個別講評を行う。学生自身による自己評価

【授業方法】

課題1、2は西郷が担当し、課題3、4は星加が担当します。各課題開始時に、課題の内容・意図をプリントで説明し、課題に関する話題をVTR・スライドで紹介します。

【学習到達度の評価】

- 1) 課題制作時に、考え方・デザインの方法・模型作成技術をマンツーマンでアドバイスし、理解度を促します。
- 2) 各課題制作後に講評会を実施し、作品の講評を通して、課題の考え方の理解・発展を促します。
- 3) 講評する選抜作品を学生投票によって行うことで、学生各自が他者の作品を通して、各自の到達度を評価できるようにします。

【評価方法】

- 1) 各課題を100点で採点し、平均で評価します。
- 2) 全授業終了後に学生自身による自己評価を行います。

【関連科目】

1年：デザイン実習I
2年：建築設計製図II 建築設計I
3年：建築造形実習 建築設計II

【教科書・教材】

配布プリント

【参考書】

福田繁雄著「福田繁雄の立体造形」河出書房新社
小嶋一浩編「ヴィジュアル版建築入門5 建築の言語」彰国社
エクスナレッジムック「ラクラク建築模型マニュアル」エクスナレッジ

【履修上の注意】

デザイン実習Iの履修を前提に行います。

【オフィスアワー】

適宜、昼休み（12:00～1:00）に研究室にて講義内容に関する質問を受付ける。